

中地区の農地の将来に関する 話し合い資料

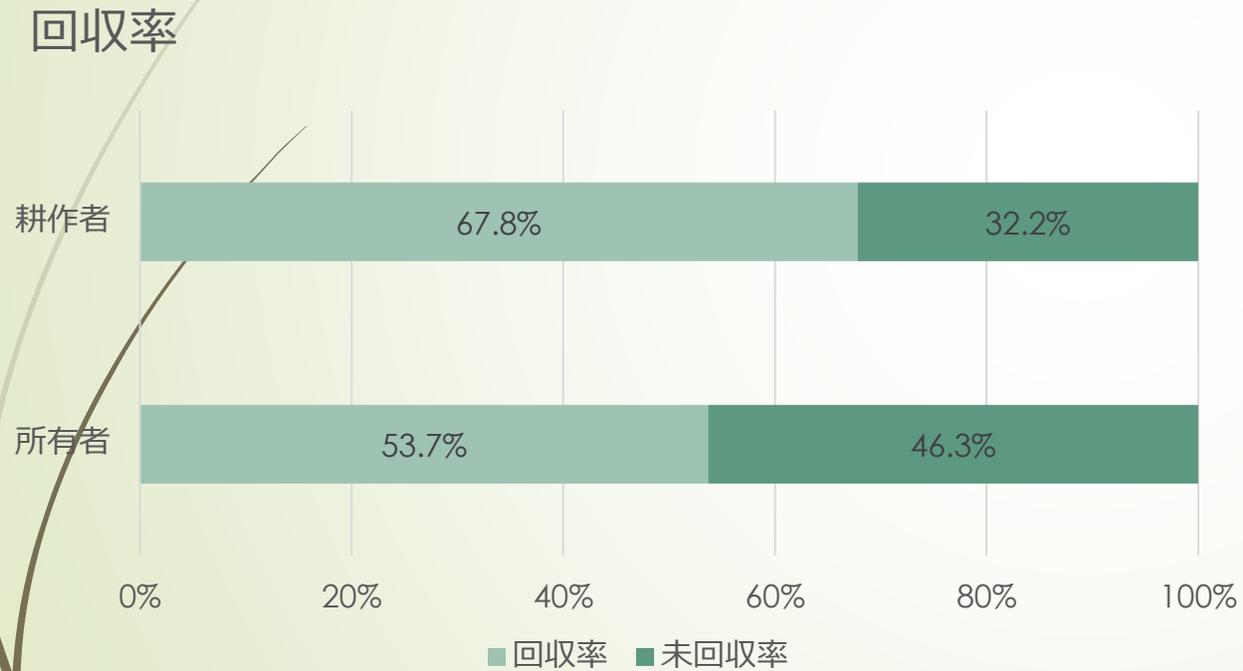
御嵩町 建設部 農林課 農業振興係



資料内容について

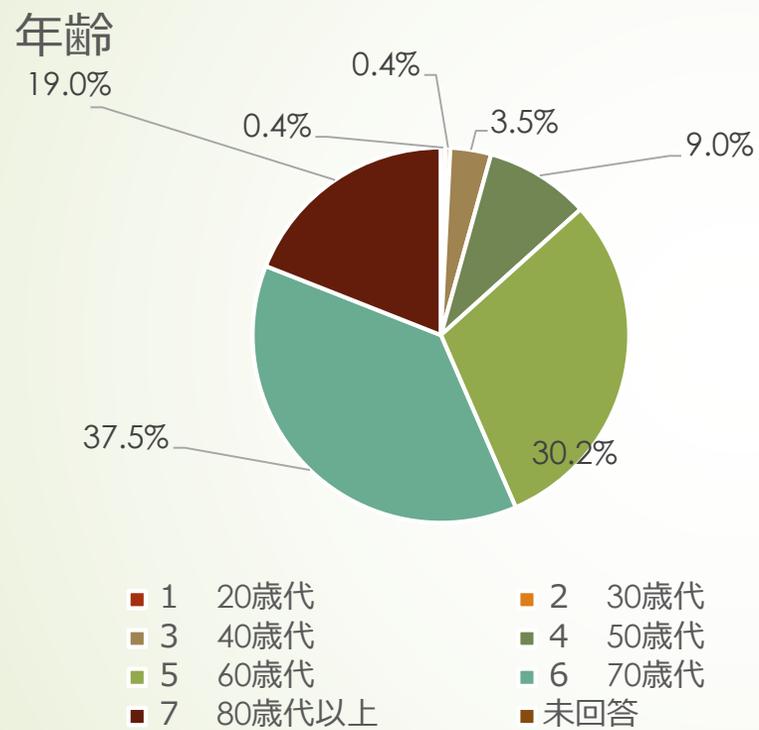
- ▶ 1 アンケートの結果・・・P 3～15
- ▶ 2 アンケート結果からみる中地区の農業について・・・P 16
- ▶ 3 アンケート結果をもとに作成した地図

アンケートの回収率について



	発送数	回収数	回収率 (%)	未回収数	未回収率 (%)
耕作者	289	196	67.8	93	32.2
所有者	67	36	53.7	31	46.3

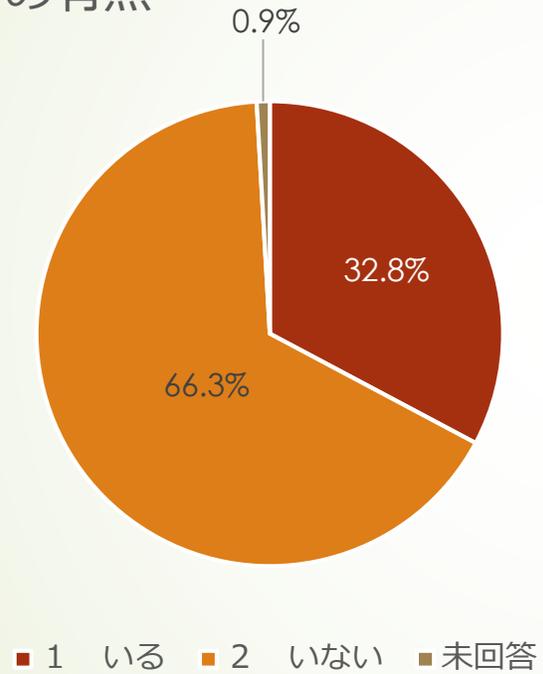
問1 ご回答者様のご年齢について



	回答数	割合
1 20歳代	1	0.4%
2 30歳代	1	0.4%
3 40歳代	8	3.5%
4 50歳代	21	9.0%
5 60歳代	70	30.2%
6 70歳代	87	37.5%
7 80歳代以上	44	19.0%
未回答	0	0.0%
合計	232	100.0%

問2 現在若しくは近い将来、後継者となる方はいますか

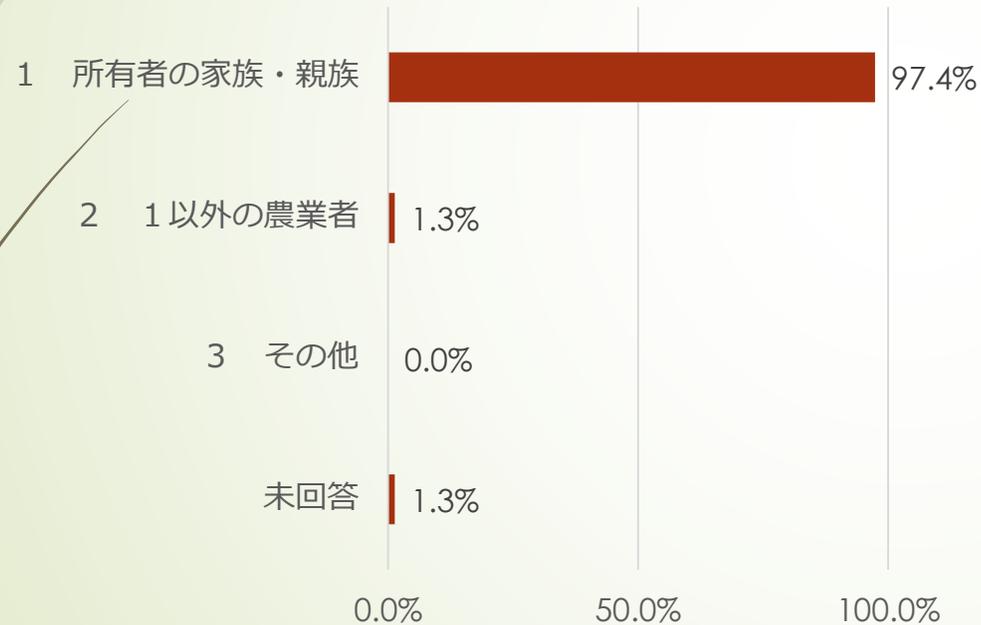
後継者の有無



	回答数	割合
1 いる	76	32.8%
2 いない	154	66.3%
未回答	2	0.9%
合計	232	100.0%

問2-2 問2で1とお答えいただいた方、後継者となる方に該当するものを選んでください

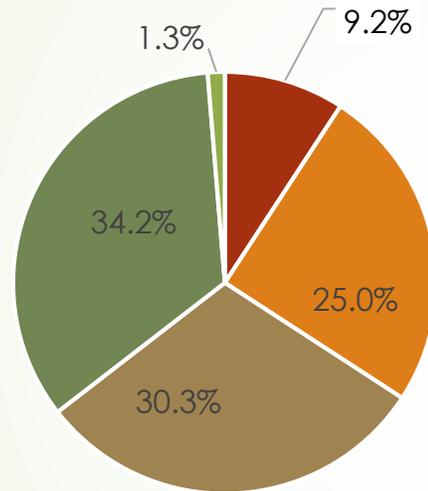
後継者見込み



	回答数	割合
1 所有者の家族・親族	74	97.4%
2 1以外の農業者	1	1.3%
3 その他	0	0.0%
未回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

問2-3 問2で1とお答えいただいた方、後継予定者の年齢に該当するものを選んでください

後継者年齢

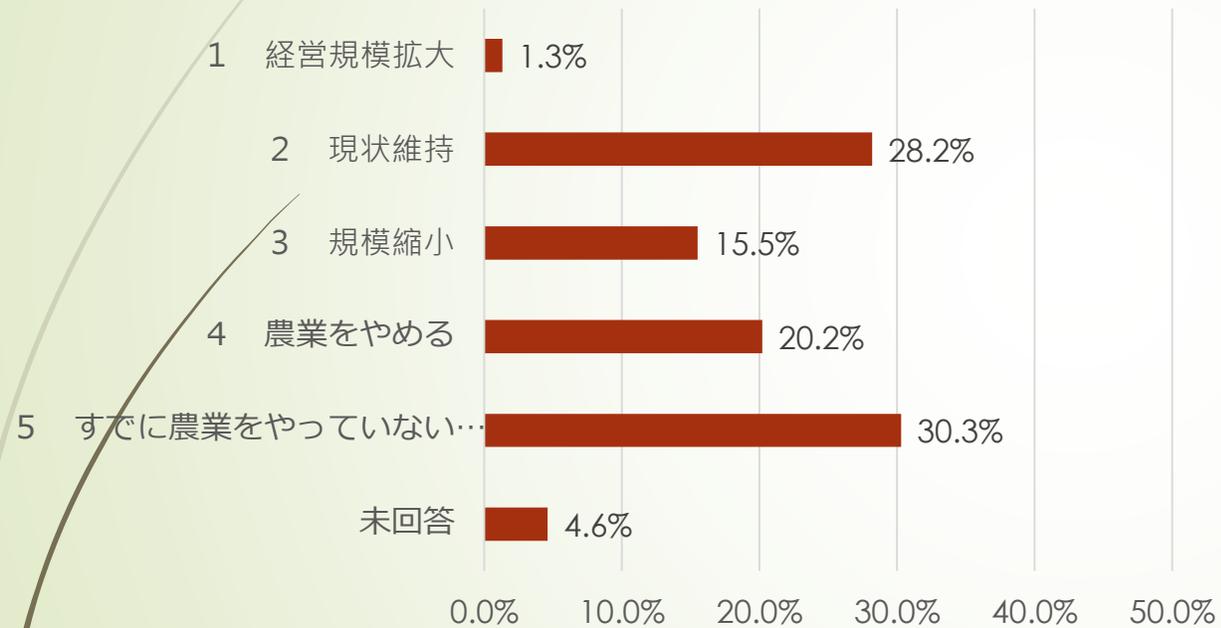


- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代以上
- 未回答

	回答数	割合
1 20歳代	7	9.2%
2 30歳代	19	25.0%
3 40歳代	23	30.3%
4 50歳代以上	26	34.2%
未回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

問3 今後の農業経営について該当するものを選んでください

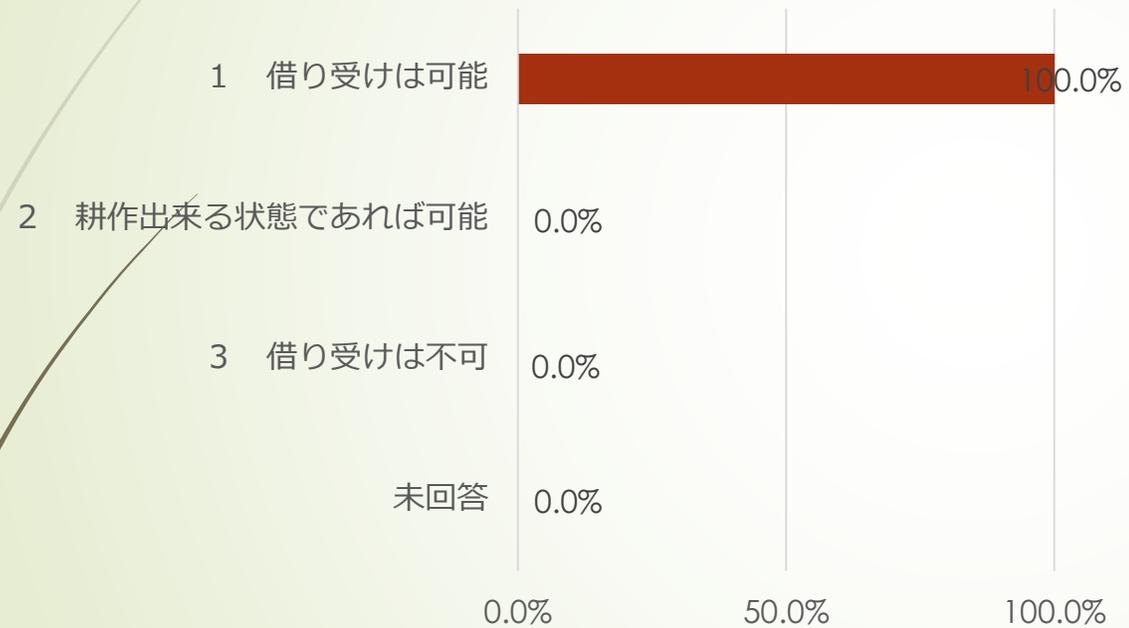
今後の農業経営



	回答数	割合
1 経営規模拡大	3	1.3%
2 現状維持	67	28.2%
3 規模縮小	37	15.5%
4 農業をやめる	48	20.2%
5 すでに農業をやっていない (地域の農業者等に耕作してもらっている)	72	30.3%
未回答	11	4.6%
合計	238	100.0%

問3-2 問3で1とお答えいただいた方、耕作放棄地の借入は可能ですか

耕作放棄地の借入



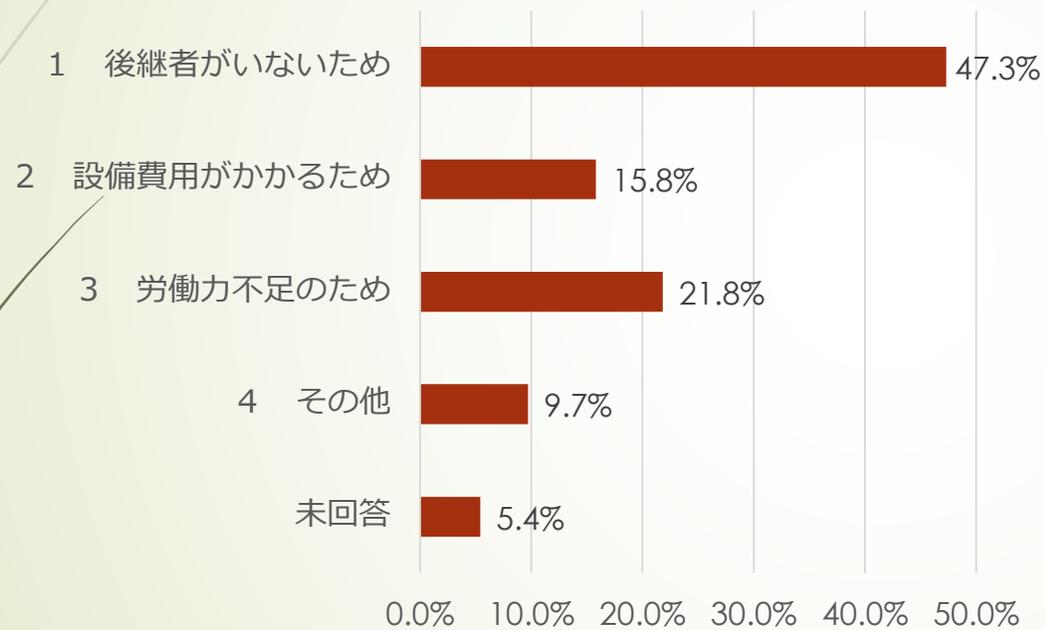
	回答数	割合
1 借り受けは可能	3	100.0%
2 耕作出来る状態であれば可能	0	0.0%
3 借り受けは不可	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	3	100.0%

問3-3 問3で1とお答えいただいた方、どの地域でどの程度まで借受を希望しますか。

	回答内容（回答数：2）
地域名	中地区
どの程度（単位：ha）	4.5

問3-4 問3で3, 4, 5とお答えいただいた理由に近いものを選んでください

農業経営の縮小理由



	回答数	割合
1 後継者がいないため	78	47.3%
2 設備費用がかかるため	26	15.8%
3 労働力不足のため	36	21.8%
4 その他	16	9.7%
未回答	9	5.4%
合計	165	100.0%

問3-5 問3で4とお答えいただいた方、具体的にいつ頃農業をやめられますか。

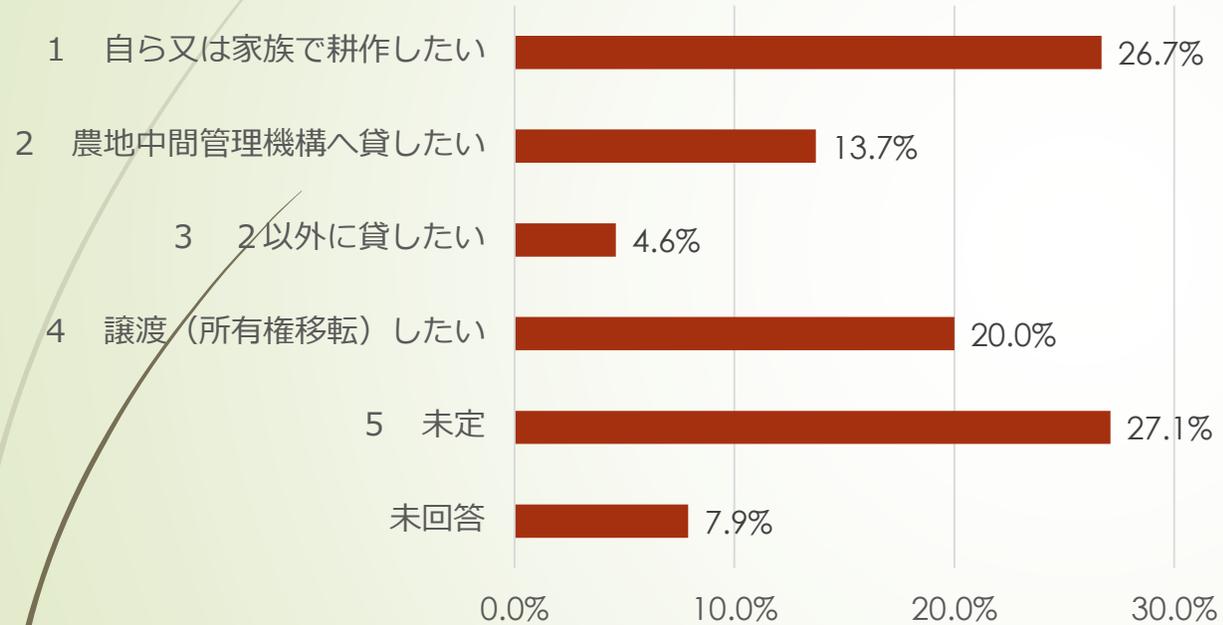
農業をやめる予定時期



	回答数	割合
1 今すぐ	7	14.6%
2 1~3年以内	2	4.2%
3 4~6年以内	3	6.3%
4 7年以上先	4	8.3%
5 未定	19	39.6%
未回答	13	27.0%
合計	48	100.0%

問4 現在所有（耕作）している農地について、5～10年後の耕作状況について

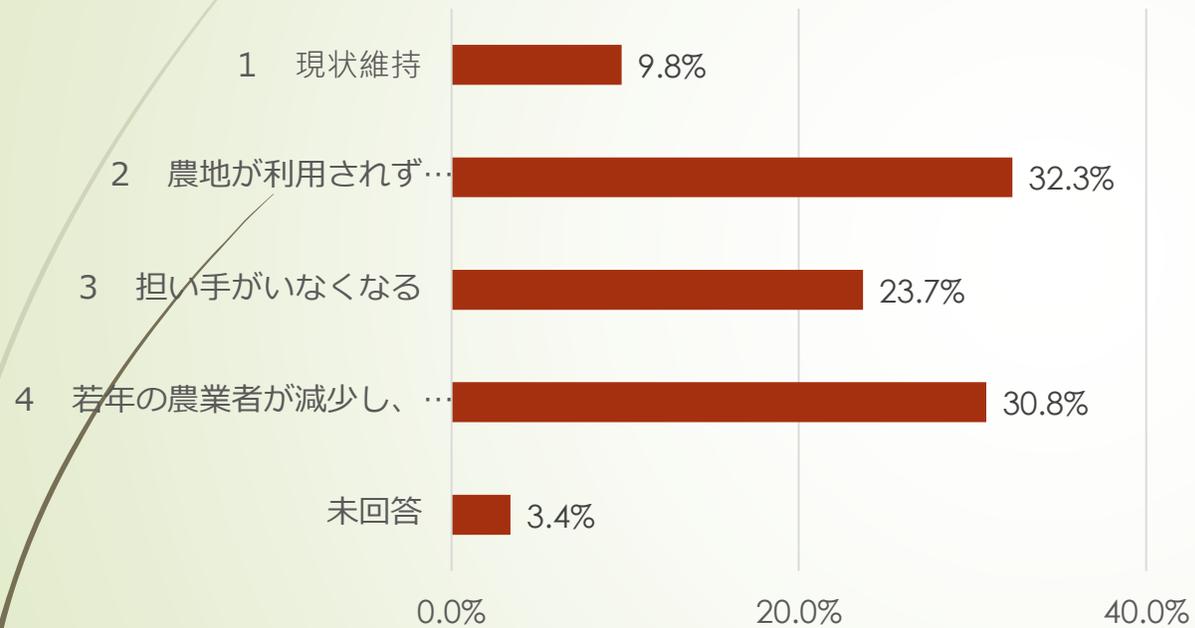
5～10年後の耕作状況



	回答数	割合
1 自ら又は家族で耕作したい	64	26.7%
2 農地中間管理機構へ貸したい	33	13.7%
3 2以外に貸したい	11	4.6%
4 譲渡（所有権移転）したい	48	20.0%
5 未定	65	27.1%
未回答	19	7.9%
合計	240	100.0%

問5 あなたの地域の農業は5～10年後どうなっていると思いますか

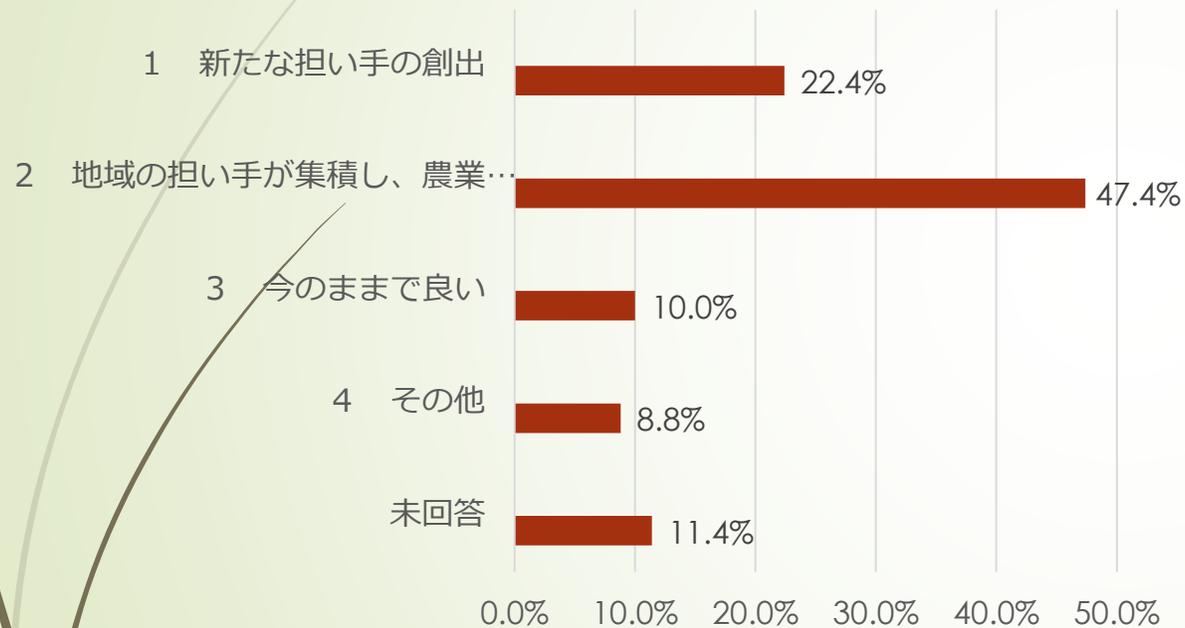
地域農業の5～10年後



	回答数	割合
1 現状維持	26	9.8%
2 農地が利用されず耕作放棄地が増加	86	32.3%
3 担い手がいなくなる	63	23.7%
4 若年の農業者が減少し、高齢化が一層進む	82	30.8%
未回答	9	3.4%
合計	266	100.0%

問6 あなたの地域の農業を維持していくために、どのような取り組みが必要だと思いますか

地域農業を維持するために必要なこと



	回答数	割合
1 新たな担い手の創出	53	22.4%
2 地域の担い手が集積し、農業の活性・効率化を図る	112	47.4%
3 今のままで良い	24	10.0%
4 その他	21	8.8%
未回答	27	11.4%
合計	236	100.0%

アンケート結果からみる中地区の農業について

- ・地区の耕作面積の内、約17%については地域の担い手（田中農機(株)、中川氏）が集積し、耕作・維持管理をしている
- ・田中農機(株)や中川氏以外にも親族内等で後継者はいるが、農業を継続することが可能な人の農地面積は中地区の耕地面積の約27%
- ・5～10年後においても、中地区の耕地面積の約45%の農地で耕作もしくは維持管理が行われると推測される
- ・上記のことから、今後5年～10年にかけて中地区における農地においては、耕作面積が大幅に減少していくことから、この5年間で早急に新たな担い手の創出や地域の担い手への集積を促進し、中地区の農地を維持管理していく必要がある。